

鶴田 直之 Naoyuki TSURUTA

「Gestalt」

会期：2012年11月6日（火） - 10日（土） 9:00 ~ 19:00

会場：沖縄県立芸術大学 崎山キャンパス彫刻棟 2階 演習室

彫刻演習室では、11月6日（火）から10日（土）まで、鶴田直之個展「Gestalt」を開催致します。鶴田は日頃より、鉄を主な素材に作品制作を続けている作家です。本展では、その作品群が発生する前のイメージドローイングや小作品約30点を展示します。

全てのものには名前がある。

実体のある“カタチ”をもつ名詞そのものに着目し、恣意的に作品として顕在化させることでカタチ≒名前（言葉）の二項関係に揺らぎを与え、言葉のイメージとしてのカタチと現実の作品の差異を認識できる様に提示したうえで言葉に対する認識を多様化または深化させつつ、言葉・イメージ・作品の暗号化を図る。

鶴田直之

鶴田の制作手法はとても独特で興味深い。モノの名前（言葉、音、字面）からインスピレーションを受け、実体とは異なる新たな存在を生み出している。その過程では様々な情報が取捨選択されより名前（言葉、音、字面）に対して適切なカタチ、有様が提示されている。それは彫刻を作るということと共に言葉の本質を探る試みを意味している。本展では鶴田の作品へ向けたドローイングや粘土で制作されたマケットを展示し、鶴田の言葉に対する直感的な“カタチ = Gestalt ”の片鱗をご紹介します。



Equus caballus 2012 鉄 202×158×145

彼方の牛 2010 鉄 115×170×60

【鶴田直之プロフィール】

1987年兵庫生まれ。現在、沖縄県立芸術大学大学院環境造形研究科彫刻専修1年生。

主なグループ展に2012年の「沖縄県立芸術大学 × 女子美術大学 教育・学術交流協定締結記念大学院生作品展」（東京）、「AS LONG AS」（沖縄）2011年「1517,806km」（沖縄）、などその他出品多数。